

令和2年度予算の状況（令和2年9月末現在）

一般会計

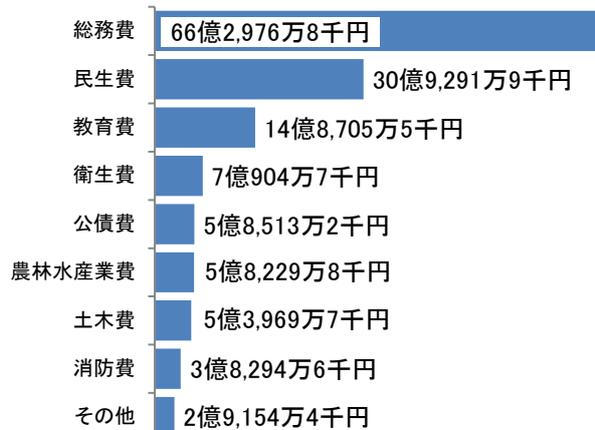
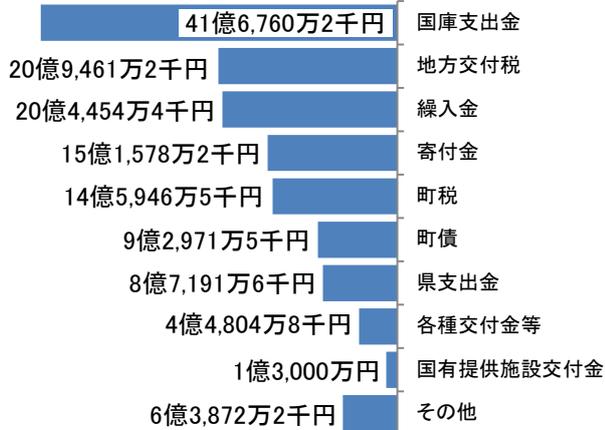
（各特別会計は4ページをご参照ください。）

歳入

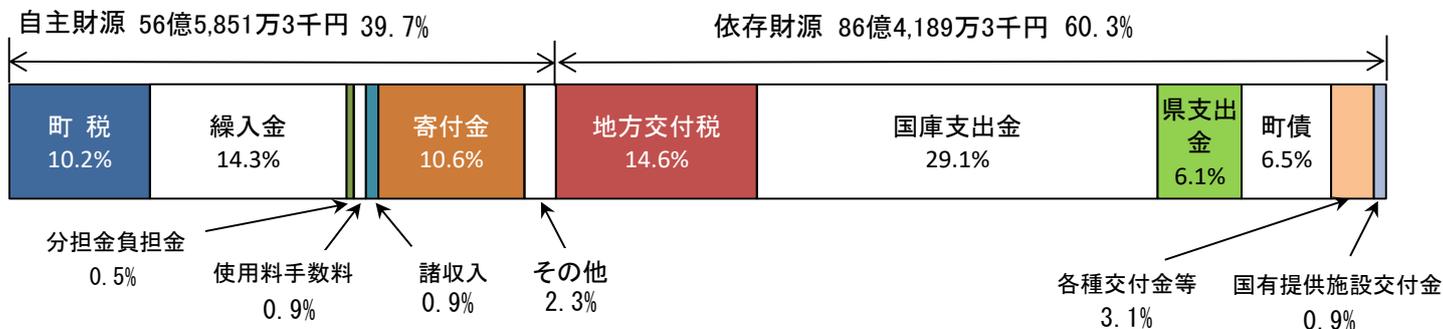
予算額 / 143億40万6千円
 収入済額 / 54億8,179万3千円 収納率 38.3%

歳出

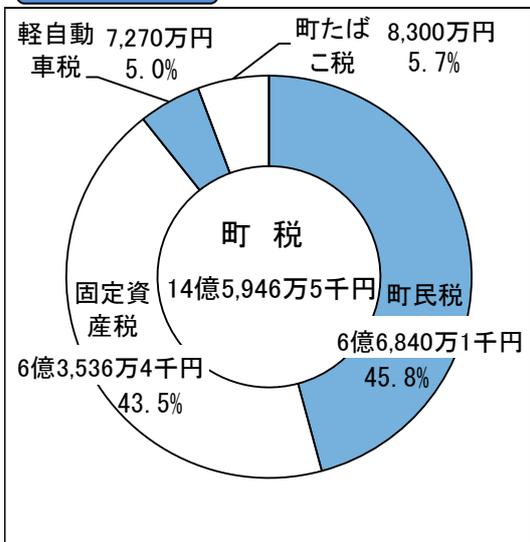
予算額 / 143億40万6千円
 支出済額 / 50億2,048万9千円 執行率 35.1%



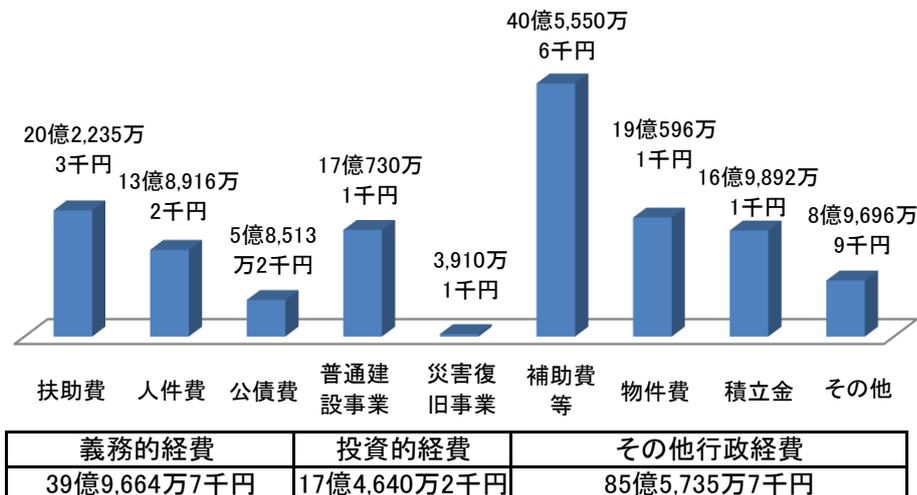
財源の構成



町税の構成



性質別にみた歳出予算



町債等（借入金）令和2年9月末現在高及び負担の状況

区分	町債現在高	町民一世帯当たり残高	町民一人当たり残高
一般会計	55億8,078万円	711,925円	324,539円

※ 令和2年10月1日の住民基本台帳の世帯数、人口で除した数値。

◎一時借入金の令和2年9月末現在の借入金現在高は0円

町民の負担の状況（令和2年9月末現在）

区分	町民一世帯当たり	町民一人当たり	被保険者一人当たり
町税	191,333円	87,221円	
国民健康保険税			101,603円

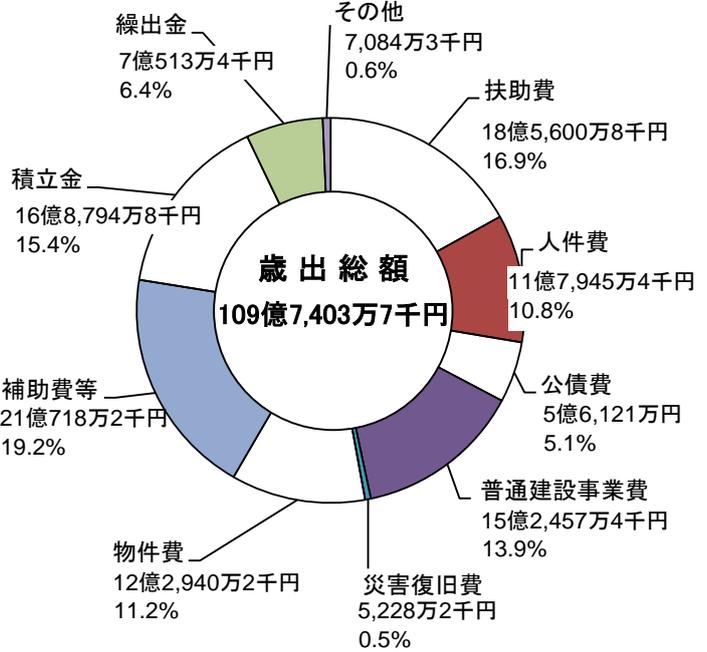
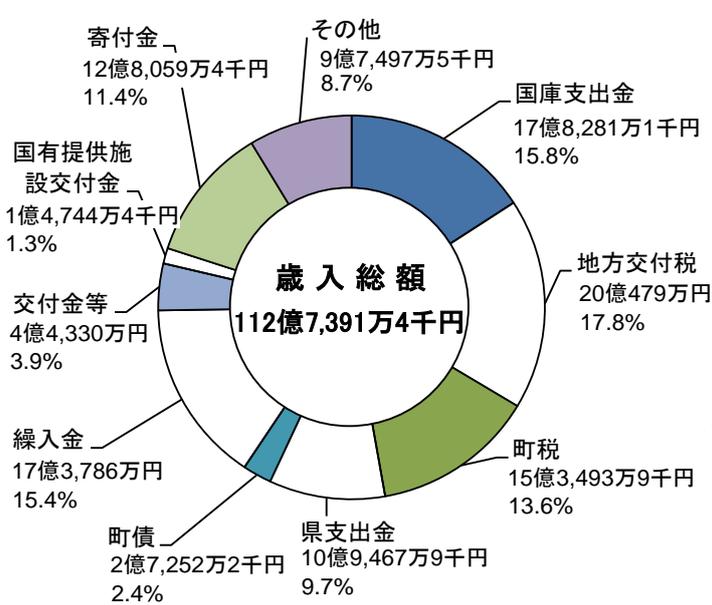
※ 町税は令和2年10月1日の住民基本台帳の世帯数、人口で除した数値。国民健康保険税は令和2年9月30日の被保険者数で除した数値。

令和元年度決算の状況

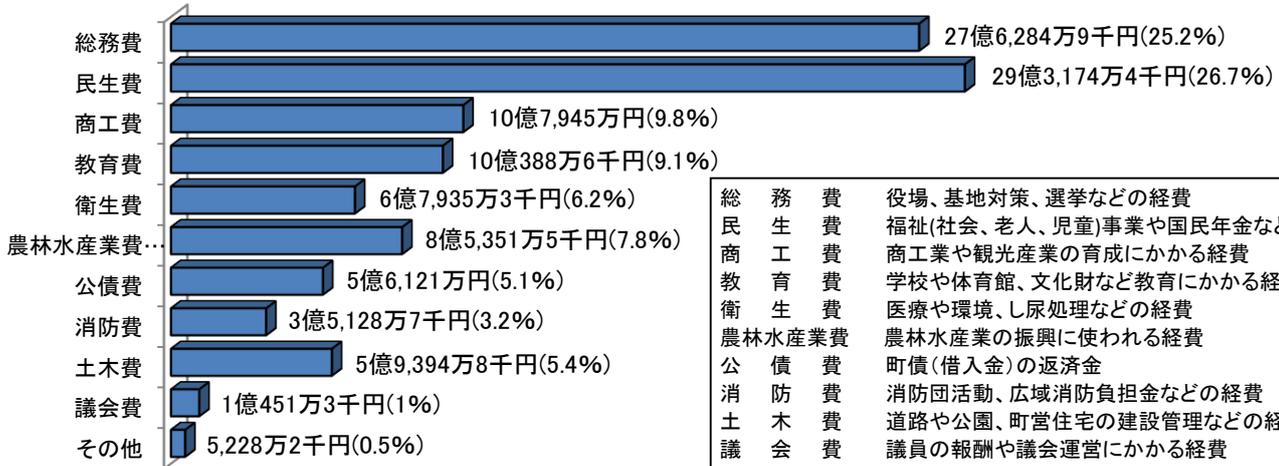
一般会計

(各特別会計は4ページをご参照ください。)

令和元年度一般会計の決算額は、歳入が112億7,391万4千円、歳出が109億7,403万7千円で、歳入歳出差し引き額2億9,987万7千円から翌年度へ繰り越すべき財源7,068万8千円を差し引いた実質収支は、2億2,918万9千円となりました。なお、この数値は国の決算統計に基づき、集計・分析した金額により表記しています。

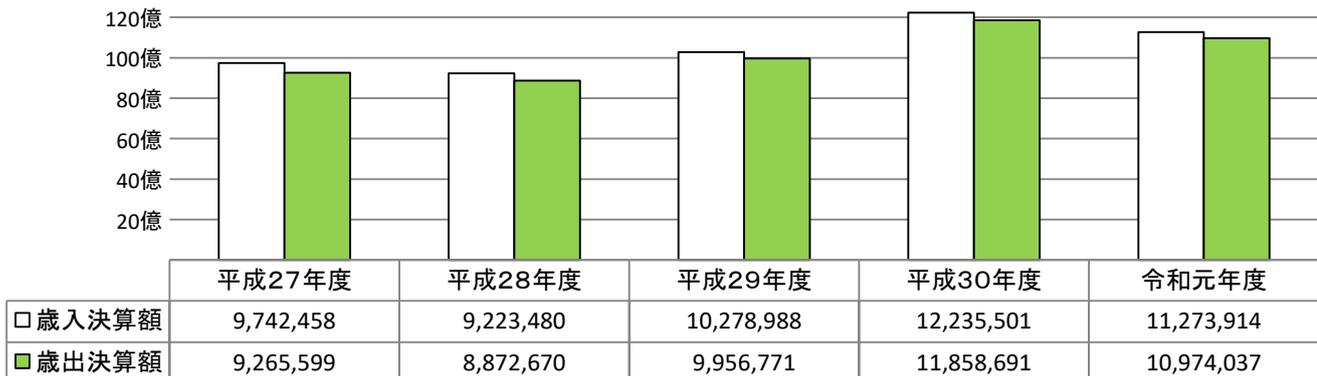


目的別歳出の内訳



総務費	役場、基地対策、選挙などの経費
民生費	福祉(社会、老人、児童)事業や国民年金などの経費
商工費	商工業や観光産業の育成にかかる経費
教育費	学校や体育館、文化財など教育にかかる経費
衛生費	医療や環境、し尿処理などの経費
農林水産業費	農林水産業の振興に使われる経費
公債費	町債(借入金)の返済金
消防費	消防団活動、広域消防負担金などの経費
土木費	道路や公園、町営住宅の建設管理などの経費
議会費	議員の報酬や議会運営にかかる経費

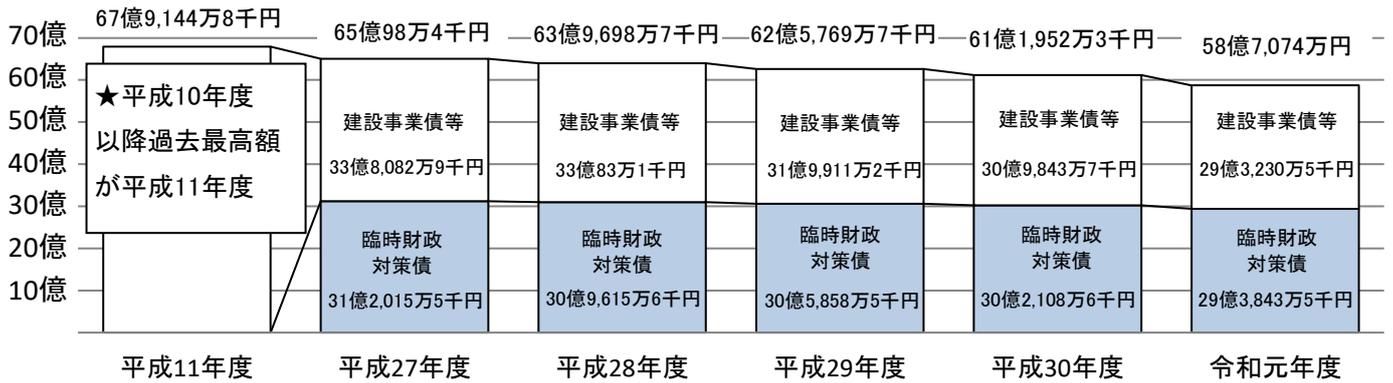
最近5年間の決算の状況



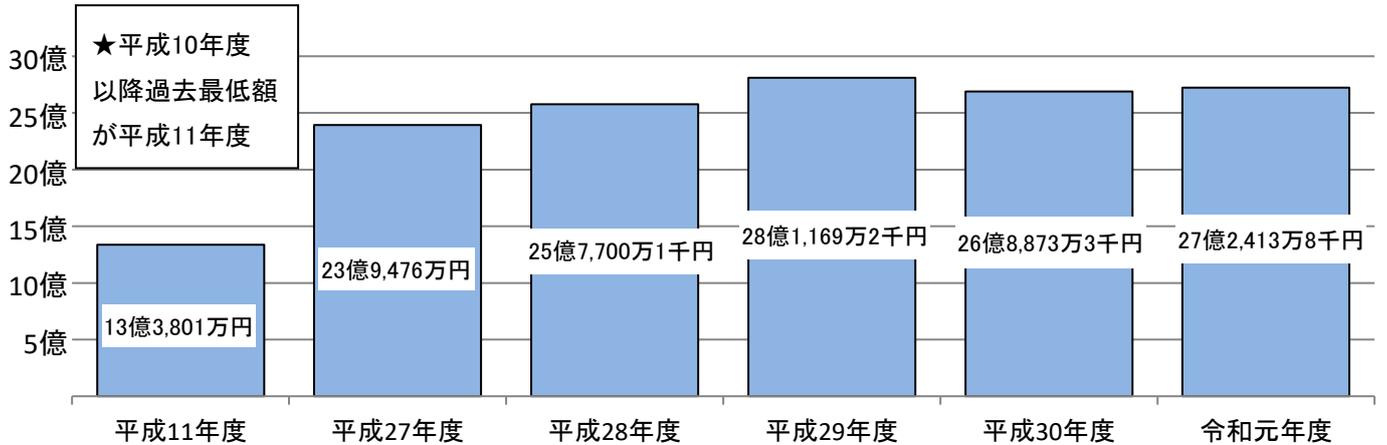
(単位: 千円)

最近5年間の町債(借入金)の状況

※臨時財政対策債は、地方交付税の代替であり地方自治体が借り入れを行います。発行した臨時財政対策債の元利償還金は、将来地方交付税で交付されることとなっています。



最近5年間の基金(積立金)の状況



一時借入金年度末現在高の状況

令和元年度は一時借入金の借り入れはありませんでした。

町民の負担状況(令和2年3月末現在)

区分	町民一世帯当たり	町民一人当たり	被保険者一人当たり
町税	196,485円	89,034円	
国民健康保険税			106,969円

※町税は令和2年4月1日の住民基本台帳の世帯数、人口で除した数値。国民健康保険税は令和2年3月31日の被保険者数で除した数値。

基金年度末現在高

区分	金額
がんばる新富町応援基金	7億6,558万1千円
財政調整基金	6億2,864万8千円
すこやか安心基金	2億8,466万5千円
公共施設等整備基金	2億5,655万6千円
土地開発基金	1億9,386万1千円
家畜導入資金貸付基金	9,940万4千円
減債基金	7,751万4千円
地域福祉基金	7,096万5千円
新富町小中学校教育情報化整備基金	5,773万3千円
有線ラジオ放送施設運営基金	5,157万1千円
読書環境整備基金	4,203万2千円
その他(13基金)	1億9,560万8千円
計	27億2,413万8千円

町有財産の状況(令和2年3月末現在)

区分	数量及び金額
土地	2,149,897m ²
建物	108,031m ²
出資による権利	2,390万4千円
有価証券	8億2,596万3千円

町債・基金の一人当たりの残高等

区分	町民一世帯当たり	町民一人当たり
町債	751,503円	340,530円
基金	348,712円	158,013円

※令和2年4月1日の住民基本台帳の世帯数、人口で除した数値。

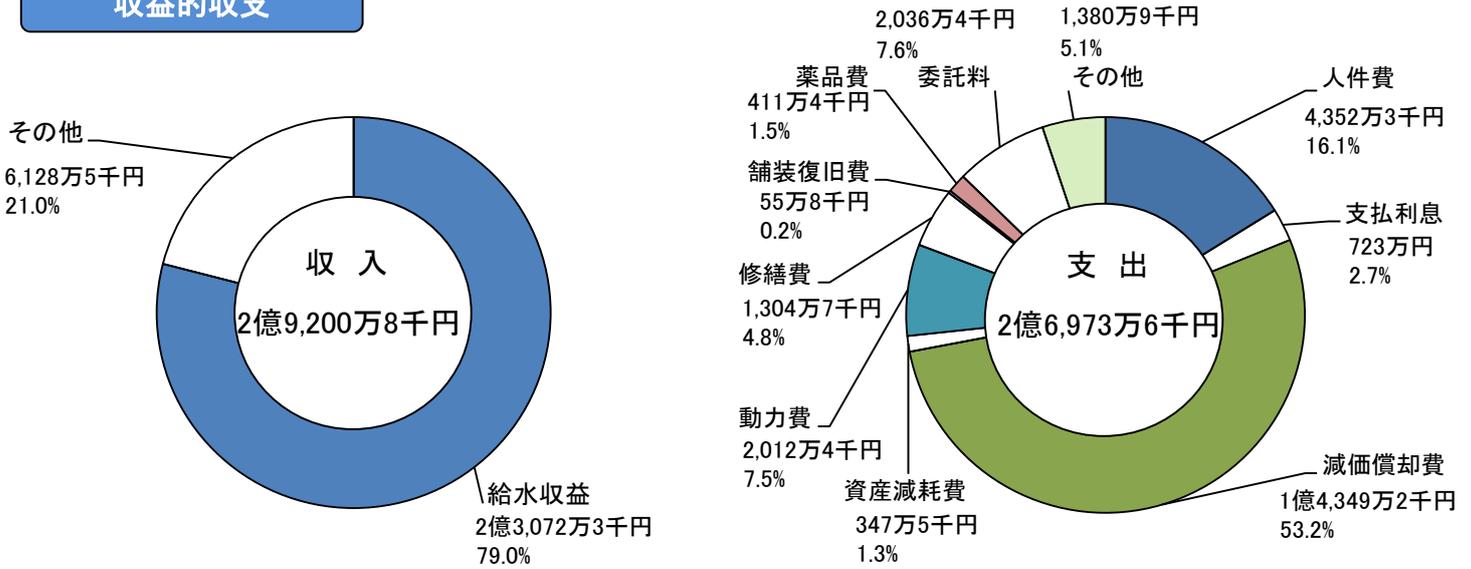
各特別会計の令和元年度決算・令和2年度予算の状況

特別会計			令和元年度決算	令和2年度予算(令和2年9月末現在)		
歳入決算額	歳出決算額	実質収支額	会計名	予算額	収入済額 支出済額	収納率 執行率
21億5,643万6千円	21億2,030万1千円	3,613万5千円	国民健康保険事業	22億446万6千円	7億7,816万7千円 7億3,362万1千円	35.3% 33.3%
16億5,248万2千円	14億4,831万7千円	2億416万5千円	介護保険事業	16億4,550万7千円	7億8,903万3千円 6億3,186万3千円	48.0% 38.4%
3億9,564万3千円	3億9,453万4千円	110万9千円	後期高齢者医療事業	4億1,555万8千円	6,720万2千円 1億4,022万8千円	16.2% 33.7%
25万2千円	11万1千円	14万1千円	西都児湯情報公開・個人情報保護審査会	14万1千円	28万2千円 2万9千円	200.0% 20.6%
2億3,630万9千円	2億679万円	2,951万9千円	土地取得事業	1億8,279万3千円	2,951万9千円 42万9千円	16.1% 0.2%

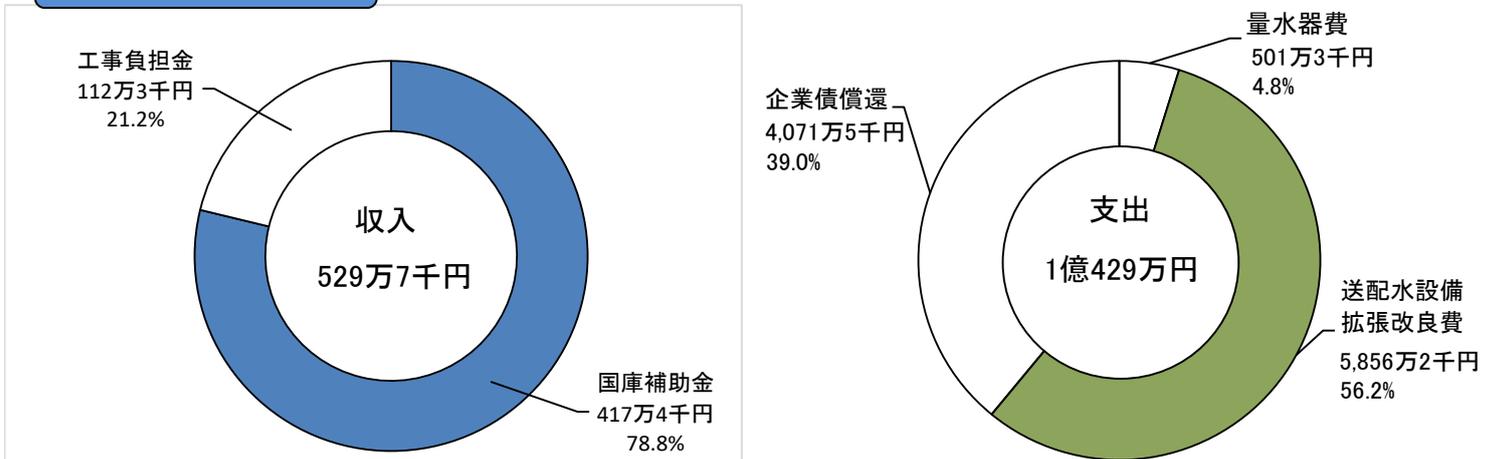
企業会計(水道事業) 令和元年度決算

令和元年度の総有収水量は1,503千 m^3 (1日平均4,117 m^3)でありました。給水戸数は5,833戸で給水人口は13,905人に水を給水しています。収益的収支では、収入2億9,200万8千円に対し、支出2億6,973万6千円で差引2,227万2千円の純利益がありました。また、資本的収支では、収入529万7千円に対し、支出1億429万円で差引9,899万3千円不足した為、当年度分消費税資本的収支調整額等で補てんしました。

収益的収支



資本的収支



※収益的収支とは、1年間の事業活動に伴って発生する収入と支出を損益計算の形で表すもので、いわば企業の経営成績を示すものです。資本的収支とは、1年間に支出した施設の整備拡充等の経費とその財源となる収入を収支の形で表すものです。

借 方		貸 方	
1 土地	59,562	1 建設改良等企業債	437,765
2 建物	399,822	2 退職給付引当金	54,641
3 構築物	1,325,017	3 修繕引当金	12,500
4 機械及び装置	658,788	4 未払金	27,874
5 車両及び運搬具	137	5 引当金	3,341
6 工具及び備品	10,242	6 預り金	0
7 建設仮勘定	7,661	7 繰延収益	833,883
8 現金預金	715,303	8 資本金	1,258,193
9 未収金	10,363	9 資本剰余金	0
10 貯蔵品	2,183	10 減債積立金	147,505
		11 建設改良積立金	383,201
		12 未処分利益剰余金	30,175
合計	3,189,078	合計	3,189,078

令和2年度予算

※令和2年9月末現在

区 分	予 算 額	収入済額	収納率
		支出済額	執行率
収益的	収 入	3億1,099万円	8,842万9千円 28.4%
	支 出	3億346万6千円	3,736万5千円 12.3%
資本的	収 入	782万3千円	72万円 9.2%
	支 出	1億4,634万7千円	365万円 2.5%

収益的収入 … 水道料・給水負担金等

収益的支出 … 人件費・施設運営費・借入金利息等

資本的収入 … 企業債等

資本的支出 … 水道管布設・企業債償還等

※資本的収支の不足額は、当年度分損益勘定留保資金等で補てんします。

令和元年度決算に基づく財政健全化判断比率

財政健全化判断比率

	実質赤字比率	連結実質赤字比率	実質公債費比率	将来負担比率
新富町比率	—	—	8.9 (9.4)	18.1 (26.8)
早期健全化基準	15.00	20.00	25.0	350.0
財政再生基準	20.00	30.00	35.00	

※ 新富町比率欄の、上段の数値は令和元年度決算、下段()内の数値は前年度(H30)決算となります。

- 実質赤字比率：普通会計の収支が赤字である場合、その赤字額が標準財政規模に占める割合。
- 連結実質赤字比率：全会計を合わせた総収支が赤字である場合、その赤字額が標準財政規模に占める割合。
- 実質公債費比率：全会計及び一部事務組合等の実質的な公債費に費やした一般財源の額が標準財政規模に占める割合。
- 将来負担比率：一般会計等が将来負担すべき実質的な負債の標準財政規模に対する割合。

※標準財政規模とは、その地方公共団体が標準的な状態で通常収入が見込まれる一般財源の規模。

説明

各比率ともに数値が高くなると財政状況の悪化を示します。本町では、普通会計・特別会計ともに黒字決算であるため、実質赤字比率及び連結実質赤字比率は「—」で表示しています。全ての比率で早期健全化基準内という決算状況でした。また、実質公債費比率、将来負担比率ともに前年度比率より改善しました。

	資金不足比率
新富町比率	—

資金不足比率：公営企業会計(本町では水道事業会計)において、資金不足があった場合、その不足額が該当事業の規模に占める割合。

説明

本町では、水道事業において資金不足が発生していないため、「—」で表示しています。

令和元年度における地方消費税交付金（社会保障財源化分）の用途状況は下記のとおりです。

【歳入】地方消費税交付金 305,339千円
 うち社会保障財源化分（税率引き上げ分） (129,476千円)

【歳出】地方消費税交付金（社会保障財源化分）が充てられた社会保障施策経費 2,834,207千円
 (単位：千円)

区 分		決算額	財源の内訳		
			国県支出金	その他特定財源	一般財源
1	社会福祉費 障がい者・高齢者・ 児童・母子福祉事業 など	1,946,763	1,289,271	100,089	557,403
2	社会保険費 国民健康保険、介護 保険事業など	699,339	138,735	0	560,604
3	保健衛生費 疾病予防対策、医療 提供体制確保、高齢 者医療事業など	188,105	18,583	79,002	90,520
合計		2,834,207	1,446,589	179,091	1,208,527